

会計名称	予算額	対前年度比
一般会計	133億円	3.9%
特別会計		
土地取得特別会計	1億7,357万1千円	△46.1%
国民健康保険特別会計	35億8,843万3千円	3.1%
介護保険特別会計	22億4,145万円	8.7%
後期高齢者医療特別会計	3億1,028万8千円	6.3%
下水道事業会計	22億7,393万5千円	16.7%
合計	218億8,767万7千円	4.7%

※下水道事業会計は、収益的支出と資本的支出の合計金額を表しています。

平成26年度菊陽町予算(案)を3月4日開催の平成26年第1回菊陽町議会定例会へ上程しました。

予算額は、一般会計が133億円で前年度比5億円増(+3.9%)、特別会計は63億1,374万2千円で前年度比1億5,685万1千円増(+2.5%)、下水道事業会計は、22億7,393万5千円で前年度比3億2,513万2千円増(+16.7%)になりました。

菊陽町の一般会計、特別会計と下水道事業会計の予算総額は218億8,767万7千円で前年度比9億8,198万3千円増(+4.7%)になりました。

# 「人・緑 未来輝く生活都市 きくよう」を目指して

## 平成26年度菊陽町予算(案)総額

# 218億8,767万7千円

### 一般会計歳入

歳入について、自主財源\*と依存財源\*に分類して、説明します。

#### ▼自主財源

歳入全体の60.0%となる自主財源は、79億7,453万2千円(前年度比1億953万2千円増)と見込みました。町税は、固定資産税(償却資産)や法人町民税が減少することにより58億3,789万7千円(前年度比2億8,544万9千円減)と見込みました。

#### ▼依存財源

歳入全体の40.0%となる依存財源は、53億2,546万8千円(同3億9,046万8千円増)と見込みました。国庫支出金\*は国の経済対策「臨時福祉給付金」と「子育て世帯臨時特例給付金」などで、県支出金\*は新設保育所整備の補助で、増加する見込みです。町債\*は、前年度から1億4,920万円減の13億7,840万円を借り入れる予定です。このうち、地方交付税\*の財源不足額を借り入れる臨時財政対策債は5億1,600万円の見込みです。

(注)歳入・歳出グラフについて  
 ・四捨五入につき内訳と合計が合わない場合があります。  
 ・%は構成比です。

### 一般会計歳出

歳出は、性質別と目的別の経費に分類して、説明します。

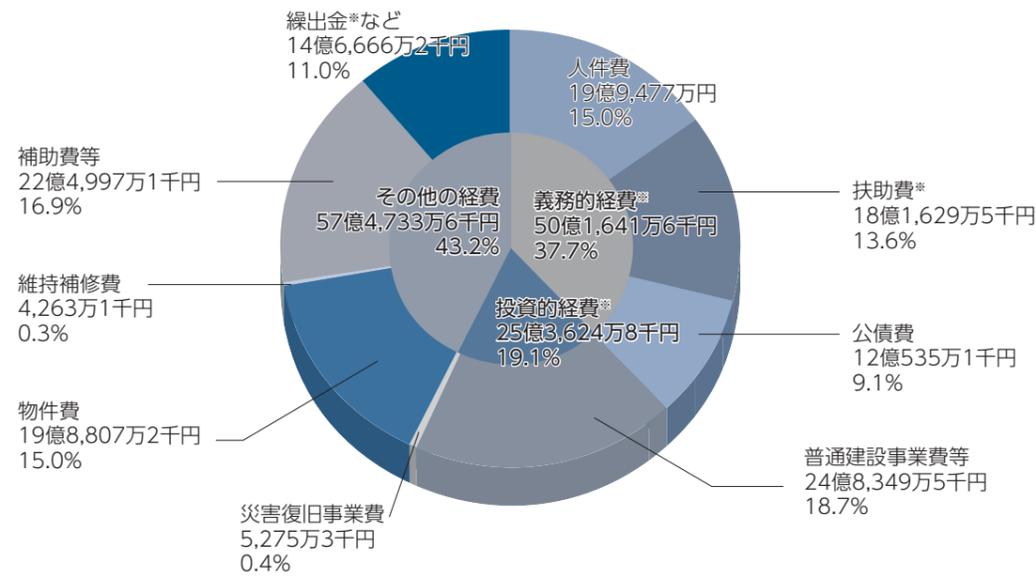
#### ▼性質別経費

人件費や扶助費\*など義務的経費\*は、50億1,641万6千円(前年度比2億1,439万4千円増)を計上しました。投資的経費\*は、25億3,624万8千円(同2,848万7千円減)を計上しました。今年度は、(仮称)菊陽町光の森複合施設建設事業や菊陽中学校増築・改修事業、新設保育所施設整備補助事業、菊陽第二土地区画整理事業の増額がある一方、平成25年度で菊陽中部小学校の改築事業が完了したことなどで全体としては減少しています。

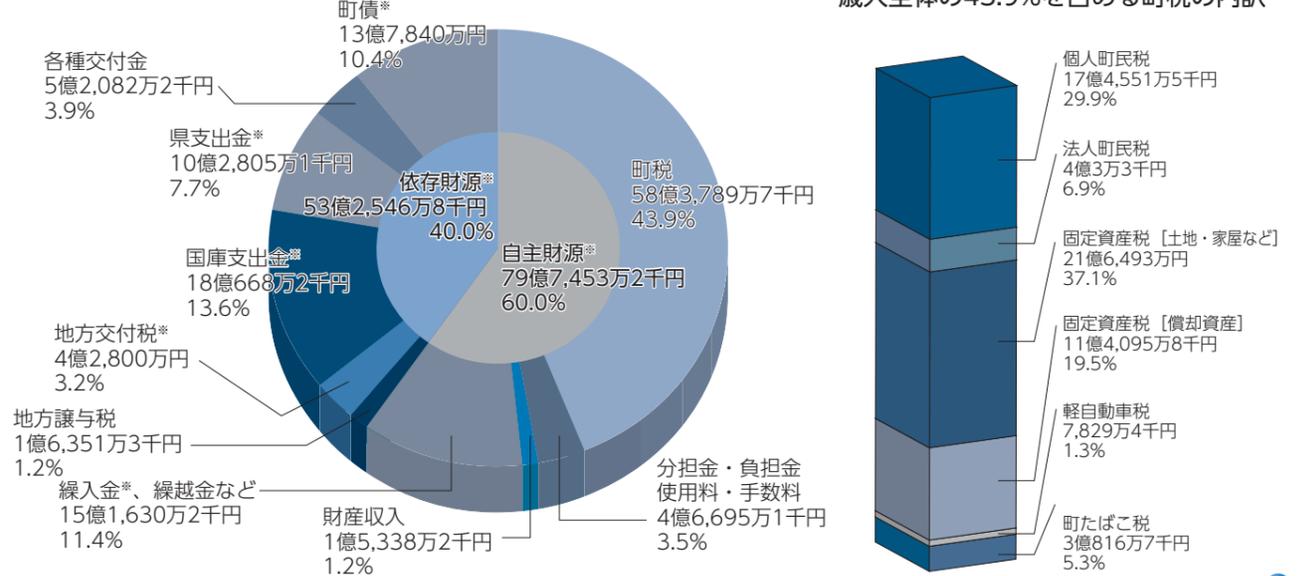
#### ▼目的別経費

各費目の詳細は6ページに掲載していますが、議会費・総務費・民生費・商工費・災害復旧費・公債費は増加、衛生費・労働費・農林水産業費・土木費・消防費・教育費は事業完了などで減少となっています。

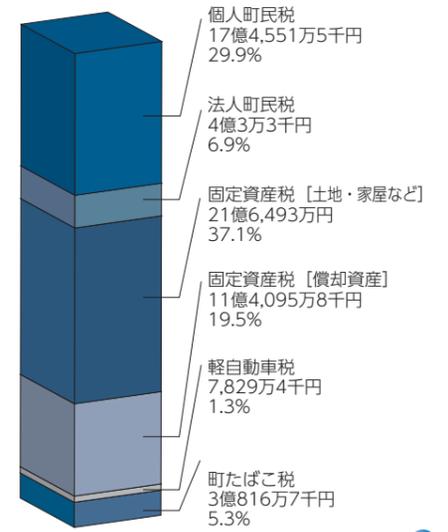
## 一般会計歳出 133億円



## 一般会計歳入 133億円



歳入全体の43.9%を占める町税の内訳



### 用語の説明

- ▼自主財源  
町が自主的に調達できる財源のこと。自主財源が多いほど町の行政活動の自主性と安定性が高いことになる。
- ▼依存財源  
国や県から交付される補助金や事業を行うために借り入れる町債など。
- ▼地方交付税  
町が必要な行政サービスを行えるように、その財政状況に応じて国から交付されるお金。
- ▼国・県支出金  
町が事業を行う場合に、国や県がその事業費の一部を負担したり、補助したりするお金。
- ▼町債  
町が施設の整備を行う場合などの財源として長期的に借り入れるお金。
- ▼繰入金  
他の会計や基金(町の貯金)などから受け入れるお金。
- ▼義務的経費  
歳出の中で支出が義務付けられていて、任意に削減できない経費のこと。人件費や扶助費、公債費がある。
- ▼投資的経費  
施設や道路など将来に残るものを作るために支出される経費のこと。
- ▼扶助費  
社会保障制度の一環として、各種の法令(障害者総合支援法、児童福祉法など)に基づき支出される経費のこと。
- ▼繰入金  
他の会計へ支出される経費のこと。

### 特別会計の主な業務内容

- ▼土地取得特別会計  
町の事業で使う土地を事業実施に先行して取得するための会計で、光の森公共用地取得の際に借りた町債の償還(約1億7,300万円)と土地の管理を行います。
- ▼国民健康保険特別会計  
74歳までの農業・自営業・退職者などの保険給付や特定健康診査などの事業を行います。  
主な財源は、加入者が納める国民健康保険税や国・県からの支出金などです。
- ▼介護保険特別会計  
高齢者の介護に関するサービス給付などを行います。  
主な財源は、40歳以上の人が納める介護保険料や支払基金交付金、国・県からの支出金などです。
- ▼後期高齢者医療特別会計  
75歳以上の人が納めた保険料を、医療給付を行う熊本県後期高齢者医療広域連合へ納付します。  
また、健康保持増進事業を行います。

## 平成26年度の主な事業

議会費		商工費	
議会運営に係る費用	1億3,462万円	商工振興費	3,778万円
総務費		セミコンテクノパーク水道維持管理負担金	685万円
自治会関係事業	6,428万円	企業誘致対策事業	2億1,557万円
広報きくよの発行	763万円	土木費	
スクールパトロール事業	726万円	鼻ぐり井手公園拡張整備事業	7,885万円
交通安全対策事業	1,411万円	道路の新設改良	2億4,684万円
防犯灯設置事業	965万円	道路の維持管理	7,574万円
地域公共交通事業(町内巡回バスなど)	4,939万円	土地区画整理事業	2億7,094万円
(仮称)菊陽町の森複合施設建設事業	3億5,063万円	公園の維持管理	6,251万円
個人番号制度(マイナンバー)事業	1,061万円	町営住宅の維持管理	1,077万円
電子計算システムの運用管理	1億4,998万円	町営光岡地建設	7,052万円
役場庁舎管理費	4,274万円	下水道事業会計繰出金(公共分)	4億4,286万円
消費者行政活性化事業	115万円	消防費	
土地取得特別会計繰出金	1億7,351万円	消防団関係費	4,219万円
民生費		消防操法大会事業	529万円
臨時福祉給付金給付事業	1億2,465万円	消防防災施設整備事業	1,101万円
地域生活支援事業(障がいのある人の日常生活の支援など)	5,003万円	菊池広域連合負担金(消防費)	2億9,943万円
障害者福祉費(総合支援費他)	6億4,236万円	教育費	
高齢者福祉費	2,197万円	中学生海外派遣事業	469万円
子ども・子育て支援事業	530万円	外国青年招致事業(2人)	1,089万円
学童クラブ運営統一組織事業	139万円	特別支援指導助手他各種非常勤講師などの活用	8,912万円
子育て世帯臨時特例給付金事業	6,422万円	各小中学校備品購入	3,904万円
保育所運営費(公立8園)	6億8,392万円	各小中学校改修工事等	798万円
公立保育所運営費負担金(広域入所分)	3,132万円	菊陽中学校増築・改修事業	9億1,543万円
私立保育所運営費負担金(5園)	5億120万円	武蔵ヶ丘中学校施設整備事業	1億2,022万円
新設保育所施設整備補助事業(平成27年4月に2園開園予定)	2億6,592万円	幼稚園就園奨励補助	7,173万円
家庭的保育事業(保育ママ)	1,434万円	生涯学習の推進(施設の運営含む)	1億7,609万円
待機児童支援助成事業	695万円	町民体育館外壁等改修事業	2,876万円
国民健康保険特別会計繰出金	3億524万円	図書館の運営(ホール運営含む)	8,047万円
介護保険特別会計繰出金	3億2,294万円	図書館ホール自主文化事業	380万円
後期高齢者医療特別会計繰出金	7,271万円	公債費	
県後期高齢者医療広域連合負担金	2億7,919万円	元金	10億2,260万円
衛生費		利子	1億8,275万円

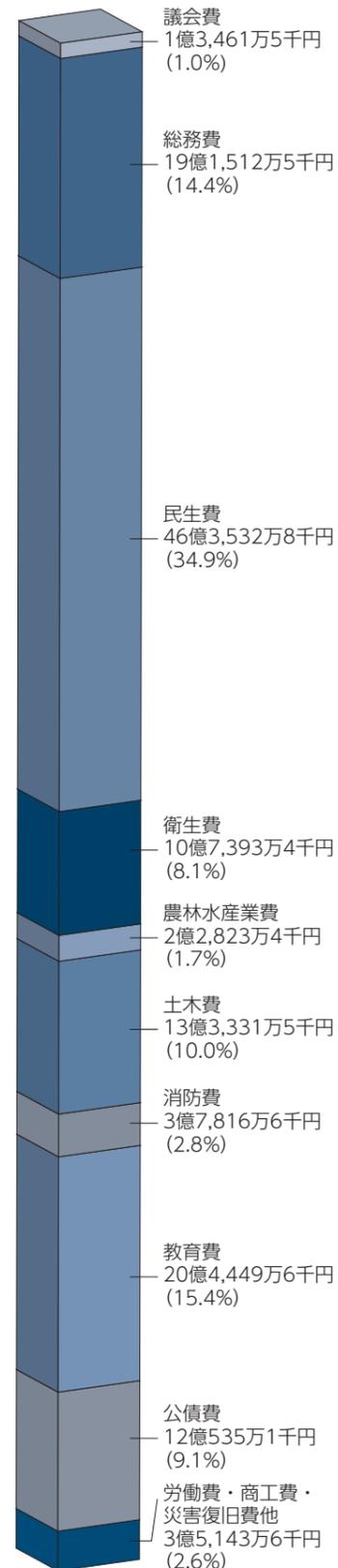
衛生費		土木費	
子ども医療費助成(中3まで)	1億8,918万円	道路付属物点検事業	891万円
妊婦健診(14回分)	6,056万円	道路防災点検事業	130万円
予防接種事業(インフルエンザ他)	1億7,603万円	鼻ぐり井手公園拡張整備事業	1億2,050万円
各種検診委託料	5,582万円	教育費	
菊池環境保全組合負担金(ごみ処理)	2億1,010万円	地域少子化対策強化事業	615万円
菊池広域連合負担金(し尿処理費)	3,625万円	公立保育所耐震診断事業	588万円
菊池広域連合負担金(火葬場費)	438万円	土木費	
ごみ収集運搬業務委託料	7,641万円	道路付属物点検事業	891万円
リサイクル奨励金 他	955万円	道路防災点検事業	130万円
太陽熱温水器、太陽光発電システム購入補助	550万円	鼻ぐり井手公園拡張整備事業	1億2,050万円
教育費		教育費	
勤労青少年ホーム、働く婦人の家運営費	401万円	菊陽中学校増築・改修事業	5億642万円
労働費	401万円	小学校空調設備設置事業	2億182万円
農林水産業費	2,575万円	農林水産業費	
畜産振興費	1,072万円	農業振興費	2,575万円
土地改良事業(農道等の整備他)	7,806万円	畜産振興費	1,072万円
下水道事業会計繰出金(農集分)	3,778万円	土地改良事業(農道等の整備他)	7,806万円
町有林の管理	292万円	下水道事業会計繰出金(農集分)	3,778万円
公債費		町有林の管理	292万円
元金	10億2,260万円	労働費	
利子	1億8,275万円	勤労青少年ホーム、働く婦人の家運営費	401万円

農林水産業費	
農業振興費	2,575万円
畜産振興費	1,072万円
土地改良事業(農道等の整備他)	7,806万円
下水道事業会計繰出金(農集分)	3,778万円
町有林の管理	292万円

労働費	
勤労青少年ホーム、働く婦人の家運営費	401万円

農林水産業費	
農業振興費	2,575万円
畜産振興費	1,072万円
土地改良事業(農道等の整備他)	7,806万円
下水道事業会計繰出金(農集分)	3,778万円
町有林の管理	292万円

## 目的別経費のグラフ



### 目的別経費の内容

**議会費**  
議会運営に必要な経費として、1億3,461万5千円(前年度比54.3万1千円増)を計上しました。

### 総務費

人件費、自治会運営、交通安全対策や(仮称)菊陽町の森複合施設建設事業などとして、19億1,512万5千円(同4億3,650万円増)を計上しました。(仮称)菊陽町の森複合施設(菊陽町光の森市民センター)は、今年度の開設を予定しています。

### 民生費

障害者福祉、子育て支援、児童手当や保育所運営などの経費として、46億3,532万8千円(同5億4,655万8千円増)を計上しました。今年度は、平成27年4月の開園に向けて私立保育所2園の施設整備補助金を計上しています。

また、国の経済対策で、「臨時福祉給付金給付事業」と「子育て世帯臨時特例給付金事業」を行う予定です。

### 衛生費

子ども医療、各種予防接種、検診、ごみ処理や環境保全関係の経費として、10億7,393万4千円(同4千円減)を計上しました。

### 労働費

「勤労青少年ホーム」と「働く婦人の家」の運営に必要な経費として、400万9千円(同148万4千円減)を計上しました。

### 農林水産業費

農業や畜産、林業などの経費として、2億2,823万4千円(同6,774万8千円減)を計上しました。

### 商工費

商工振興や企業誘致、観光などの経費として、2億6,136万9千円(同4,940万7千円増)を計上しました。

### 土木費

道路、公園、土地区画整理、町営住宅の整備や維持管理などの経費として、13億3,315万5千円(同3億849万9千円減)を計上しました。

また、継続事業として鼻ぐり井手公園拡張整備なども行う予定です。

### 消防費

消防負担金や消防団、消防施設などの経費として、3億7,816万6千円(同1,326万5千円減)を計上しました。

### 教育費

小中学校の運営や生涯学習、図書館などの経費として、20億4,449万6千円(同2億1,916万6千円減)を計上しました。

### 災害復旧費

今年度は菊陽中学校増築・改修事業が完了する予定です。平成24年7月に発生した九州北部豪雨で被災した農地と農業施設の復旧に必要な経費として、5,275万3千円(同149万円増)を計上しました。

### 公債費

町債の返済費用として、12億535万1千円(同1億1,789万6千円増)を計上しました。町債残高は、平成25年度末で約15.1億円です。

### まとめ

平成26年度当初予算は、歳入不足による厳しい財政状況の中、部局を超えた視点で事業内容を見直し、精査しました。各事業の優先度の高いものを予算化することで、最小の経費で最大の効果を上げることができるよう予算編成を行いました。

また、6ページの「平成26年度の主な事業」右下にあるように、昨年12月5日に閣議決定された「好循環実現のための経済対策」に対応するため、当初予算に計上する予定の事業をできる限り前倒しで平成25年度3月補正予算に計上しています。

今後も大規模な事業が計画されているため、より一層の経費節減と適正な歳入確保に努めていきます。

### 財政課 財政係

☎(232)2111



▲菊陽中学校の完成イメージ

### 下水道事業会計予算

下水道事業(公共下水道事業と農業集排水事業)は、「地方公営企業法」を適用(財務規定など)した会計処理を行っています。

▶公営企業会計は、収益的収支と資本的収支に分けて会計処理を行います。▶収益的収支は、下水道事業を運営するための経営活動に必要な経費とそのための財源です。▶資本的収支は、下水道施設の建設や改良などに必要な経費とそのための財源です。

収益的収支		資本的収支	
収益的収入	14億4,989万7千円	資本的収入	4億8,237万8千円
収益的支出	13億7,889万8千円	資本的支出	8億9,503万7千円

\*資本的収支の不足額は、平成26年度損益勘定留保資金(収益的収支の事業費用のうち現金の支出を必要としない減価償却費などの費用)などで補います。

☎ 下水道課 業務係 ☎(232)2164